

令和5年度 シラバス

教科	地理歴史・公民	科目	地理総合		単位数	2	履修学年	2	学科・コース	普通科・理数科																				
教科書	高校生の地理総合（帝国書院）・詳解現代地図（二宮書店）		副教材等	新編フォトグラフィア（とうほう）				担当者	大山元司・野村明彦																					
1．科目の目標			2．学習の進め方や留意点					3．評価の観点と函中コンピテンシー																						
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。			〈進め方〉 (1) 様々な地図や統計資料をもとに、現代世界について、考察させる機会を設ける。 (2) 「発問→思考→表現・共有」等のパターンを通して、知識・技能の定着を図る。 (3) 共通テストの出題傾向を踏まえた授業展開を図る。 〈留意点〉 (1) 単純に語句を覚えるのではなく、なぜそうなるのかを考える事が大切です。 (2) 事前に教科書を読んでいることと、板書事項以外のことを聞き逃さずメモすることが大切です。					<table><tr><td></td><td>知識・技能</td><td>思考・判断・表現</td><td>主体的な態度</td></tr><tr><td>傾聴力</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>思考力</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>先見力</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度	傾聴力	○		○	思考力	○	○		協働力		○	○	先見力			○
									知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度																			
								傾聴力	○		○																			
								思考力	○	○																				
								協働力		○	○																			
先見力			○																											

4．学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	1 部 地図や地理情報システムで捉える現代世界 1 章 地図や地理情報システムと現代世界 1 節 地球儀と地図 2 節 地図と地理情報システム 【中間考査】	1 0 1	・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解することができる。	・各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	・目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について主体的に追求し課題を見いだそうとしている。
6 7 8	2 章 結びつきを深める現代世界 1 節 現代世界の国家と領域 2 節 地図から見る国内や国家案の結びつき 2 部 国際理解と国際協力 1 章 生活文化の多様性と国際理解 1 節 世界の地形と人々の生活 2 節 世界の気候と人々の生活 3 節 世界の産業と人々の生活 4 節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 【前期期末考査】	1 5 1	・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解することができる。	・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追求し、課題を見いだそうとしている。
9 10 11	5 節 多様な生活文化と地理的環境 2 章 地球的課題と国際協力 1 節 人口問題 2 節 食料問題 3 節 都市・居住問題 4 節 感染症・衛生問題 5 節 資源・エネルギー問題 6 節 地球環境問題 【後期中間考査】	1 5 1			

1	2	3 部 持続可能な地域づくりと私たち		・自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活の中に見られる防災・減災への取組みを理解している。	・どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し表現している。	・自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追求し、課題を見いだしている。
3		1 章 自然環境と防災				
		1 節 日本の自然環境				
		2 節 地震・津波や火山活動による災害と防災				
		3 節 気象災害と防災				
		4 節 自然災害への備え				
		2 章 生活圏の調査と地域の展望	1 0			
		【学年末考査】	1	【学年末考査・単元別復習テスト・単元別振り返りシートなど】		
			5 4			